

緩和ケア部会

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成
29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の
質の維持向上

【目標】
あるべき姿 質の高い緩和ケア医療の提供

部会が担当す
る分野の課題
と目標

5

施策毎
のアウト
カム目標

施策毎
のアウト
プット
目標

施策
アクション
プラン

ワーク
シート1で
導き出さ
れた対策
項目

中期目標 除痛率の指標を作る
指標 除痛率60% 測定方法

最終目標 除痛率調査方法のベースラインが出来ている
指標 除痛率90% 測定方法

【アウトカム目標1】平成25年3月までに、すべての
患者が緩和ケアを正しく理解し、治療に参加できる
必要な機会にアクセスできる環境を整える

参加者2
5年度500
名(二次
医療団
ごとに、
年に1回
開催)

(1)25年3
月までに拠
点・支援病
院で主治医
からの配布
率が50%
(2)30年3
月までに
配布率
100%

25年3
月までに
宮古・
石垣と
2回づ
つ開催

(1-1)緩和
ケアパン
フレット作
成

【施策1】一般・患者、家族への情報提
供を行う

【施策2】
患者会
への協
力

●月●
日までに評価
アンケートを
実施する

平成25年
度は支援
病院、参加
希望施設、
拠点病院
で調査を開
始する。

平成24年
度末までに
調査方法を
構築する

【施策3】
除痛率
の確立
をはかる

石垣と
宮古で
の患者
会後援
と講演
会開催

【施策4】
緩和ケア
現状調査

【アウトカム目標2】25年3月
までに満足60%
(2)30年3月までに90%

25年3月ま
でに一年分
のデータを
おこない患
者さんとの
ニーズのギャ
ップを明らか
にする

(4-1)23
年9月ま
でに緩和
ケア研修
会未修了
者数調査
を修了す
る

【施策5】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策6】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策7】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策8】
緩和ケア
研修会の実
施

【アウトカム目標3】
30年3月ま
でに基本
的な緩和
ケア医療
ができる
医師が630
名増え、
一般的な
緩和ケア
医療がで
きる医師
が210人
増加する

25年3月
までに拠
点・支援
病院の依
頼数が30
%増える

●年●月までにアンケート調
査を行う。

【施策9】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策10】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策11】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策12】
緩和ケア
研修会の実
施

【アウトカム目標4】
30年までに緩和ケア医療ができる医師以外
の医療者が2倍増え、25施設の緩和ケア
チームの依頼が5倍に増える

25年3月
までに拠
点・支援
病院の依
頼数が30
%増える

●年●月までにアンケート調
査を行う。

【施策13】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策14】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策15】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策16】
緩和ケア
研修会の実
施

【アウトカム目標5】25
年3月までに看
察を行う施設が2
倍に増える

25年3月
までに拠
点・支援
病院の依
頼数が30
%増える

●年●月までにアンケート調
査を行う。

【施策17】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策18】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策19】
緩和ケア
研修会の実
施

【施策20】
緩和ケア
研修会の実
施

【対策項目1】
患者さんへの正しい情報提供

【対策項目2】
より多くの医療関係者への適切な情報提供と教育

【対策項目3】
チーム医療体制の強化

【対策項目4】
病棟・病
診連携
の強化

【対策項目5】
行政との
連携

<緩和ケア部会:平成24年度経費内訳(案)>

1. 琉球大学附属病院支出予定額
(都道府県拠点病院) 合 計 2,201,935

1. 緩和ケア認識の普及啓発活動
(①-1)緩和ケアパンフレットの配布

項 目			単価	支出予定金額	備考
郵送代		430	80	34,400	
コピー用紙代		2	345	690	
計				35,090	

(①-2)本島および離島で講演会等を開催する

項 目	研修先	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	2	30,000	60,000	
講師謝金(学外者)	2時間	2	30,000	60,000	
計				120,000	

2. 患者会への協力

石垣と宮古での患者会を後援する、または講演会の開催

項 目	場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	県立宮古病院	2	57,400	114,800	航空券30,000(那覇～宮古往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日)
旅費	県立八重山病院	2	66,800	133,600	航空券39,400(那覇～石垣往復) 日当6,600/宿泊20,800(2泊3日)
計				248,400	

今年度はどちらか一ヶ所

3. 疼痛除去率調査費用

項 目		件数	単価	支出予定金額	備考
解析費		500		500,000	
計				500,000	

4. 緩和ケア情報シートの分析: ￥500,000

5. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項 目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	琉球大学医学部附属病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

6. 緩和ケアフォローアップ研修会を実施する

項 目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
交通費(県内)		10	2,000	20,000	
講師謝金(学外者)	2時間	10	30,000	300,000	
会場費	沖縄県医師会(4時間)	2日間	16,000	32,000	
計				352,000	

7. チーム医療体制の強化: ￥6,400(アンケート調査)

8. 緩和ケアチームへの依頼調査

項 目		送付先	単価	支出予定金額	備考
郵送代		14	80	1,120	
計				1,120	

9. 看取りを施設で行うための勉強会の実施: ￥16,000(アンケート調査)

10・行政セミナーの実施

項 目			単価	支出予定金額	備考
会場使用料		3	2500	7,500	沖縄県医師会ホールで行った場合
光熱費・設備使用料		3	2000	6,000	
計				13,500	

2. 県立中部病院支出予定額(地域拠点病院) 合 計 409,425

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項 目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	県立中部病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)琉大の規定参照
計				409,425	

3. 那覇市立病院支出予定額(地域拠点病院) 合 計 409,425

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項 目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	那覇市立病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

4. 北部地区医師会病院支出予定額(支援病院) 合 計 409,425

3. 本島での緩和ケア研修会企画、実施を調整する

項 目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
研修会費用	北部地区医師会病院			409,425	(詳細は【本島での緩和ケア研修会に係る費用】参照)
計				409,425	

5. 県立宮古病院支出予定額(支援病院) 合 計 60,000

7. 緩和ケア認識の普及啓発活動

項 目	人数	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	2	30,000	60,000	
計				60,000	

6. 県立八重山病院支出予定額(支援病院) 合 計 60,000

7. 緩和ケア認識の普及啓発活動

項 目	人数	回数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	2時間	2	30,000	60,000	
計				60,000	

総 額 3,550,210

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)